



日本・デンマーク 国際シンポジウム



NOT EASY TO USE BIOBANK WHAT IS THE BARRIER? & BIGDATA?

バイオバンク/ビッグデータの 更なる利活用に向けて

日時 2020年2月12日(水) 13:30-18:10

・プレシンポジウムセッション 13:00-

・情報交換会 18:20-19:30

会場 **東京**

ヒルサイドプラザ(代官山ヒルサイドテラス内)

<http://hillsideterrace.com/access/>



| 言語 | 日本語・英語(同時通訳を用意する予定です)

| 主催 | 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

| 後援 | デンマーク大使館

| スピーカー協力 | 電通、モニターデロイト、ちとせ研究所

申込方法

お名前、ご所属、連絡先を明記の上、下記メールでお申し込み下さい。

✉ event@pr.megabank.tohoku.ac.jp

詳細はこちら

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/news/37063>

多くの人々の協力を長期に得て行うコホート調査やバイオバンクが、各国で大規模に構築され、そこで生み出されるビッグデータが、新たな医療や産業を牽引することが期待されています。また、バイオバンクで生み出されるデータが、その他のビッグデータ、すなわち診療データ・公的データなどと結びつくことでその価値がさらに高まることも期待されています。

しかしながら、診療によって蓄積されたデータ、研究によって集められたデータ、公的機関によるデータなどを、正確に、効率よく、そして、個人情報の保護などに配慮しながら統合して、多様な分野にわたる産業界等による有効な利活用を促すことは決して容易ではありません。国民全体が参加するバイオバンクの構築などが進むデンマークの先進的な事例や、両国におけるバイオバンクの産業利用とその課題の紹介をもとに、バイオバンクによるビッグデータの更なる利活用の未来像を探るシンポジウムを開催します。

プログラム

12:30 開場

13:00 プレシンポジウムセッション
デンマークのご紹介

13:30 シンポジウム開始

13:40 第一部

日本のバイオバンク、生体試料活用研究、
デンマークに学ぶ大規模なデータ利活用
演者:

山本 雅之(東北大学)

山本 万里(農業・食品産業技術総合研究機構)

Lisbeth NIELSEN (デンマーク保健省局長)

Bartlomiej WILKOWSKI(デンマーク国立バイオバンク)

荻島 創一(東北大学) ほか

16:05 第二部

バイオバンクの産業利用とその課題
演者:

Kaare CHRISTENSEN (デンマーク加齢研究センター)

寛澤 篤(東北大学)

Jes HERBERT (デンマーク工科大学)

笠原 堅(ちとせ研究所) ほか

18:10 閉会

18:20- 同会場にて情報交換会を行います。(19:30まで)

本シンポジウムは、厚生労働科学研究費補助金「次世代バイオデータ基盤の構築に向けたデータ連携の概念実証」により行っています。